



## 公務員専門学生が海上自衛隊の職場研修



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、7月5日（水）と19日（水）の2日間、海上自衛隊横須賀地方総監部（神奈川県横須賀市）で行われた、大原公務員専門学校静岡校の自衛隊研修を支援した。

これは、同校公務員科の学生や校長、教員等65人が2日間に分かれて現場を訪問し、公務員である海上自衛官の仕事とはどのようなものかを見学・体験することで任務ややりがいについて理解を深める教養授業の一環として行われた。

研修は両日とも、午前中に海上自衛隊の概要説明及び大原専門学校を卒業した隊員との懇談を行った。懇談では、同校先輩隊員が自らの入隊動機や仕事でのやりがいについて語るとともに、質疑応答では現在の職場環境や入隊後の待遇等について学生の疑問に丁寧に答えていた。

午後は、護衛艦などの離着岸を支援する曳船に乗船して横須賀港内を体験航海し、海側から海上自衛官の働く姿を見学した。

その後、5日は護衛艦「ゆうぎり」、19日は護衛艦「はたかぜ」の艦内をそれぞれ見学し、現場で働く隊員から直接説明を聞くことができ、学生たちは自衛隊の仕事について理解を深めている様子であった。

静岡地本は、今後もこのような現場を体感出来る機会を積極的に設け、自衛隊という仕事の魅力をより深く知ってもらうとともに、熱意ある志望者の獲得に努めていく。

## 「静岡県任期制隊員合同企業説明会」を支援



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、7月12日（水）、御殿場高原ホテル（御殿場市）で行われた「平成29年度静岡県任期制隊員合同企業説明会」を支援した。

これは、自衛隊援護協会東京支部主催、静岡県自衛隊援護懇話会協賛で行われ、県内での就職を希望する20代の任期満了退職予定隊員等を対象に、雇用協力企業等による合同説明会を実施し、任期満了前の早期かつ適切な就職援護を図るもの。

また、静岡地本は退職予定隊員及び参加企業に対する予備自衛官・即応予備自衛官制度の説明も併せて行い、自衛隊を退職し企業などに就職した後も引き続き予備自衛官として自衛隊を支えてもらえるよう同制度の普及推進に努めた。

当日は、県内の企業等43社と退職を予定する陸・海・空の隊員45人が参加し、皆真剣な表情で企業の説明に聞き入り、退職後の次なるステージの情報を積極的に収集していた。

参加した隊員からは「担当者の丁寧な説明を聞いて、その企業をより深く理解することができた」「さまざまな業種の話を知ることができ、当初と違う分野にも興味を湧いた」といった率直な感想が聞かれた。

また、企業の担当者も「自衛官らしくきびきびとした態度で面談に臨んでいる姿を見て、是非採用したいと思った」「隊員の真剣な姿勢が大変良かった」と感想を話していた。

静岡地本は、今後も隊員の希望が叶うよう再就職援助活動に努めて隊員と企業双方の架け橋として尽力するとともに、予備自衛官等制度説明を積極的に実施し、予備自衛官等の勢力確保に引き続き努めていく。